大会実施要項 (補足)

本大会は、参加者が安全に、かつ公平に競技を楽しめることを目的とし、従来の規定に加えて、新しい試みとしてジェンダーレス対応およびデモンストレーション競技を実施いたします。

以下に、大会実施要項の補足として詳細を記します。

□中学 3 年生の試合形式について

現行の一般社団法人日本拳法競技連盟の競技規則においては、中学 3 年生男子は「面実撃」、女子は「面空撃」とする区分が設けられています。

しかしながら、近年のジェンダーレス社会の推進および性別による一律の区分を見直す社会的潮流を踏まえ、全国少年連盟においても競技規則の見直しが検討されており、段階的移行を進める方針が了承されています。また、2027 年の総合選手権大会においては、「面あり防具試合(エキシビション)」の実施が提案される予定となっています。

これらの動向を踏まえ、本大会においては性別に基づく区分の固定的運用を再考し、当該区分を撤廃するとともに、中学 3 年生については、男女を問わず「面有り防具試合」として統一いたします。

□デモンストレーション競技について

技術の多様化や競技参加の裾野拡大を目的として、新たな競技形式の導入を行います。

本競技は、安全性を最優先としつつ、技術力および判断力を競うことで、幅広い層が参加可能な新しい競技形態として実施するものです。

つきましては、本大会より、以下のデモンストレーション競技を実施いたします。

【デモンストレーション競技】

面空乱撃競技

1. 競技概要

面部への攻撃は空撃(ノンコンタクト)とし、胴部への攻撃のみ実撃(フルコンタクト)で行う。投げ技および関節・逆捕り技も有効とするが、組討状態は 5 秒以内とする。

2. 目的

・身体的負担を軽減しつつ、技術・判断力・間合いの攻防を重視した競技を推進する。
・特にシニア層を中心に、生涯スポーツとしての日本拳法の普及・発展を図る。
・安全性を確保しつつ、幅広い年齢層が参加できる大会運営を実現する。

3. 対象

・一般、壮年(40 歳以上・50 歳以上・60 歳以上)を主対象とする。
・ただし、希望者がいる場合は、他の年齢層も参加を認める場合がある。
・参加人数により、部門区分を変更する場合がある。

4. 防具

・拳法面は 6mm 面および 7mm 面を推奨する。
・ただし、面はフェイスガード付きの軽量防具等、大会実行委員会が認めた面を使用することができるものとする。

5. 競技規則

・顔面への蹴り技は横蹴りのみ有効とする。
・その他は、一般社団法人日本拳法競技連盟競技規則に準じて実施する。

2026 年 7 月 1 日
愛媛県日本拳法連盟